

目標達成計画

作成日:平成27年1月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の一員として「日常的」に交流している点は弱い。行事や、近隣保育所・中学校との交流も受身である。住みなれた地域から距離があり、車移動となってしまう。日常的に交流する為には何が不可欠か考察する	自分の住みなれた地域で交流・貢献できるように、年間計画に入れて活動する。	毎日40分以上の身体活動時間を維持し、体力・認知力の低下を予防する。自治会の活動や住みなれた地域の情報を集め、その中へ積極的に出かけ、作った物を販売したり、ボランティア活動へと発展させる。	12ヶ月
2	30	重度化や終末期に向けた支援の経験と学びが不足している。これまで看取り介護へ移行した方も0名である。現在、なじみの場所で最期までと希望される方も増えている。	スタッフ全員が、看取り介護についての知識を深め、医師・看護師と連携しながら、最期まで看るという意識を持つ。	毎月1回、看取り介護についての勉強会を開催し、全員ができることを確実に身に付ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。